

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	超高齢者に対する麻酔の安全性の定量化：単施設後ろ向きコホート研究	
1. 研究の目的と方法	研究の目的 高齢の方が手術を受ける機会は年々増えています。手術のあとに元の生活にどのくらい戻れるかは、手術を受けるときの年齢やお身体の状態、手術前の日常生活の状態などに影響を受けます。これまでの研究では死亡率や合併症が中心に調べられてきましたが、実際に「自宅に帰れるか」「自分で生活できるか」といった生活の質に関する情報は十分ではありません。 この研究では、70代・80代・90代・100歳以上といった年代ごとに、退院先や退院時の日常生活の状態を調べ、手術や体の状態によってどのような違いがあるかを明らかにすることを目的としています。 研究の方法 2019年1月から2024年12月までに東京慈恵会医科大学附属病院で麻酔科管理の全身麻酔手術を受けた70歳以上の患者さんを対象とします。 手術前の年齢・併存疾患・日常生活活動度などと手術後の回復の程度や帰院先、手術や麻酔に関する情報を収集し、手術を受けられる患者さんが「どのくらい自立して退院できるか」ということを確率的に示し、リスクを地図のように可視化してまとめます。 - 調査はすべて過去の診療記録を利用して行い、新たな検査や治療を行うことはありません。 - 記録からはお名前や住所などの個人を特定できる情報をすべて削除したうえで解析します。 - この研究で得られた結果は、学会や医学雑誌などで発表されることがありますが、個人が特定されることは一切ありません。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年12月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	2019年1月1日～2024年12月31日の間に東京慈恵会医科大学附属病院で全身麻酔を受けた70歳以上の方	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身長、体重、検査結果（血液検査）、手術および麻酔に関わる情報、術後合併症および治療歴、術後の生活動作、術後転院先に関わる情報

	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座
		氏名	山川 健太郎 (ヤマカワ ケンタロウ)
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 11 月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 研究責任者：教授 山川 健太郎 (ヤマカワ ケンタロウ) 電話番号：03-3433-1111 (内線 4040) 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。